

【様式②】 特定公民連携事業
(大東市 記入様式)

大東市による評価

特定公民連携事業名
深野北小学校跡地活用プロジェクト

特定公民連携 推進法人	株式会社アクティブ・スクウェア・大東
事業期間	令和4年7月1日～令和9年6月30日
管理体制	正職員 5名

1. 特定公民連携事業の5つの条件について

	項目	所見
1	複数の地域経営の課題を解決しているか	「学生の市外への転出」や「歴史・文化等、観光資源の未活用」といったエリアの都市経営課題に対し、手持ち花火などの家族向けイベント、朗読会や相撲体験を計画・実施するなど、解決に向けた取り組みを進めている。 また、市が所有する土地・建物を民間事業者の有償貸付をするという事業スキームは、他の公有財産においても展開できるものである。
2	地域一帯の価値を向上させているか	「ココロとカラダの稽古場」と定義した開発理念のもと、「日常と非日常が体験できるサービス」や「学校という特色を活かしたサービス」を進めるなど、エリア一帯の賑わい創出に一定、寄与しているが、今後、それらの取組を地域により周知していくことが、必要であると考えられる。
3	地域経済の発展および地域経済の循環に寄与しているか	地域の人材を職員として雇用すること、また、イベント等の開催を通じ、市内外から人が訪れることにより、地域経済の発展、循環に寄与していると考えられるが、今後、施設やイベントの広報に力を入れ、より一層の交流人口増加を目指していく必要がある。
4	公的負担の軽減につながっているか	他の類似施設と比較すると、指定管理者制度ではなく公民連携手法を用いたことにより、公的負担の軽減に寄与している。

【様式②】 特定公民連携事業
 (大東市 記入様式)

5	金融機関等から資金調達を行うなど自立かつ持続的な事業となっているか	資金調達を大東倶楽部の関連会社や民間金融機関から借入れを実施し、自立持続的に事業を進めている。
---	-----------------------------------	---

2. 維持管理業務についての評価

(リスク分担表に基づき、特定公民連携事業推進法人が実施すべきものについて)

	項目	実施状況
1	設備保守管理	建築設備および防火設備の点検を実施した結果、是正項目がいくつかあるものの、通常の維持管理に当てはまるため、リスク分担に基づき、修繕等維持保守管理を徹底していただきたい。その他、施設内設備機器の保守管理についても利用者の安全を第一に考え、管理を徹底すること。
2	屋外管理	運動場北側や、体育館南側など、人の立ち入らない部分等の管理が十分に行き届いていないように感じる。 限られた予算の中で、除草や低木の剪定を実施いただいていることは理解をしているが、地域住民からも当該箇所について改善の要望がある。 予算の関係で難しい場合は、テナントや施設利用者に清掃や除草作業に協力いただくイベントを実施したり、清掃に協力を頂く代わりに施設の利用権利を付与したりするなど、様々な取組を検討していただきたい。
3	修繕等	修繕希望箇所があった場合は、該当箇所の状態、賃貸借契約書に基づくリスク分担などを明確にして、本市に連絡をいただき、協議するという形で今後も進めていきたい。

【様式②】 特定公民連携事業
 (大東市 記入様式)

3. 特定公民連携事業審査会における指摘事項について

	項目	評価
1	<ul style="list-style-type: none"> ・効果検証の定期的な実施 ・収支の健全性確保 	事業の効果検証を行う場として、評価委員会を設置し、年に一度、一年間の事業実施状況等を評価し、翌年度の事業につなげる機会を設けている。なお、民間事業者と行政が、互いにそれぞれの取組を振り返り、議論する場とするため、契約4年目までは民間事業者と行政の二者のみで実施。最終年度のみ、本事業や公民連携事業に関し見識を有する有識者等が参画する評価委員会とする。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・収支状況のチェック体制 ・事業者に寄り添った事業の実施 	年に一度、決算報告書を提出いただき、行政にて収支状況等の確認を行っている。また、市議会に対しても、事業の進捗状況とあわせて、報告する体制をとっている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・公民連携事業効果の最大限の発揮 	本事業の可能性を再認識の上、市の他の施策との連携、連動を意識して経営を進めて行くためにも、双方が密に情報を共有し、可能性を引き出す姿勢をさらに持つべきであると考えている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、地元との連携強化 ・賑わい創出、価値向上に繋がる仕組みづくり 	昨年度、施設の無料開放および地域住民との座談会を実施し、地域の方に施設を知っていただき、より開かれた施設にしていくために必要なことなどについて、民間事業者と地域住民による意見交換が行われた。「協議会」を設置するか等、方法は検討中であるが、今後も引き続き、地域住民との意見交換の場を設ける予定であり、行政・民間事業者・地域住民が連携した賑わい創出、価値向上につなげられると考えている。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・くつろいで滞在できる空間、施設の運営 	提供する各サービス間の連携強化に取り組み、くつろいで滞在できる施設として利用者が判断できるイベント等を引き続き行っていただきたい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア価値向上を意識した施設改修、整備 	利用する上で、本当に必要な修繕や整備を見極めるためにも、利用者の意見を常に聞き、リスク分担に準じた修繕計画を立てていただきたい。

【様式②】 特定公民連携事業
(大東市 記入様式)

4. その他(自由記述)

様々な団体から需要が多くあり、とても魅力的な施設であるからこそ、ここにしかないものを継続的に行っていく仕組みづくりを考えていただきたい。
また、元公共施設であったイメージを払拭するためにも、斬新なアイデアで民間施設としてのイメージが定着するようシフトしていただきたい。